

2023年3月期第2四半期

# 決算説明資料

2022年11月18日



# 目次

・ 2023年3月期 第2四半期 決算報告	P 2	～	P 7
・ 2023年3月期 通期計画	P 8	～	P 15
・ 利益還元（配当金）について	P 16		
・ SDGsへの取り組み	P 17		
・ 企業価値向上への取り組み	P 18	～	P 29
・ 国際事業の取り組み	P 30	～	P 36
・ 脱炭素への取り組み	P 37	～	P 40
・ 人材育成への取り組み	P 41	～	P 42
・ 健康経営への取り組み	P 43		
・ 社会貢献活動	P 44	～	P 46
・ SIGNAL MOVIESのご紹介	P 47		

# 決算ハイライト

- 半導体部品の入手難による影響があり、売上高は前年同期比で減少したが、営業利益、経常利益は増益となった。

(単位：億円)	2021/3 2Q	2022/3 2Q	2023/3 2Q	
	実績	実績	実績	前年同期比
売上高	351	352	<b>350</b>	▲1
営業利益	12	8	<b>9</b>	+1
経常利益	17	16	<b>16</b>	+0
親会社株主に帰属 する四半期純利益	13	9	<b>7</b>	▲2

# セグメント別①売上高・セグメント利益

- 交通運輸インフラ事業 : 大型案件の減少に伴い、前年同期比で減収減益。
- ICTソリューション事業 : 駅務機器等の売上増により、前年同期比で増収増益。

(単位：億円)	2021/3 2Q		2022/3 2Q		2023/3 2Q		前年同期比	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益
交通運輸インフラ事業	183	18	197	17	<b>191</b>	<b>14</b>	▲6	▲2
ICTソリューション事業	168	8	154	7	<b>158</b>	<b>12</b>	+4	+5
全社費用	-	▲14	-	▲16	-	▲17	-	▲1
合計	351	12	352	8	<b>350</b>	<b>9</b>	▲1	+1

# セグメント別②受注高・売上高・受注残高

(単位：億円)	2022/3 2Q			2023/3 2Q			前年同期比		
	受注高	売上高	受注残高	受注高	売上高	受注残高	受注高	売上高	受注残高
鉄道信号	173	185	438	390	174	612	+216	▲11	+174
スマートモビリティ	23	12	14	32	17	23	+8	+4	+9
交通運輸インフラ事業	197	197	452	422	191	635	+225	▲6	+183
AFC	134	118	182	174	127	207	+39	+9	+24
スマートシティ	39	35	13	35	31	14	▲3	▲4	+0
ICTソリューション事業	174	154	196	210	158	222	+36	+4	+25
合計	371	352	648	633	350	858	+261	▲1	+209

## 鉄 道 信 号

国内事業は大型案件が少なかったことから減収。受注増は国際事業による。

## ス マ ー ト モ ビ リ テ ィ

国内、国際事業の交通信号システムによる売上増。受注増は国内管制システムによる。

## A F C

駅務機器等による売上増。受注増は国際事業による。

## ス マ ー ト シ テ ィ

セキュリティシステムなどの受注・売上が減少。

# セグメント別③国際事業の状況

(単位：億円)	2022/3 2Q			2023/3 2Q			前年同期比		
	受注高	売上高	受注残高	受注高	売上高	受注残高	受注高	売上高	受注残高
鉄道信号	173	185	438	<b>390</b>	<b>174</b>	<b>612</b>	+216	▲11	+174
鉄道信号のうち海外	19	26	180	<b>232</b>	<b>28</b>	<b>361</b>	+212	+1	+181
AFC	134	118	182	<b>174</b>	<b>127</b>	<b>207</b>	+39	+9	+24
AFCのうち海外	0	4	24	<b>40</b>	<b>5</b>	<b>54</b>	+40	+0	+30
海外合計	19	31	204	<b>273</b>	<b>33</b>	<b>416</b>	+253	+1	+211

## 海外全体

海外大型案件の受注により受注高・受注残高とも第2四半期で過去最高。

## 海外鉄道信号

受注は主にフィリピン マニラ地下鉄、売上はインド アーメダバードメトロなどによる。

## 海外AFC

受注は主にエジプト カイロ4号線、売上はバングラデシュ ダッカメトロ6号線などによる。

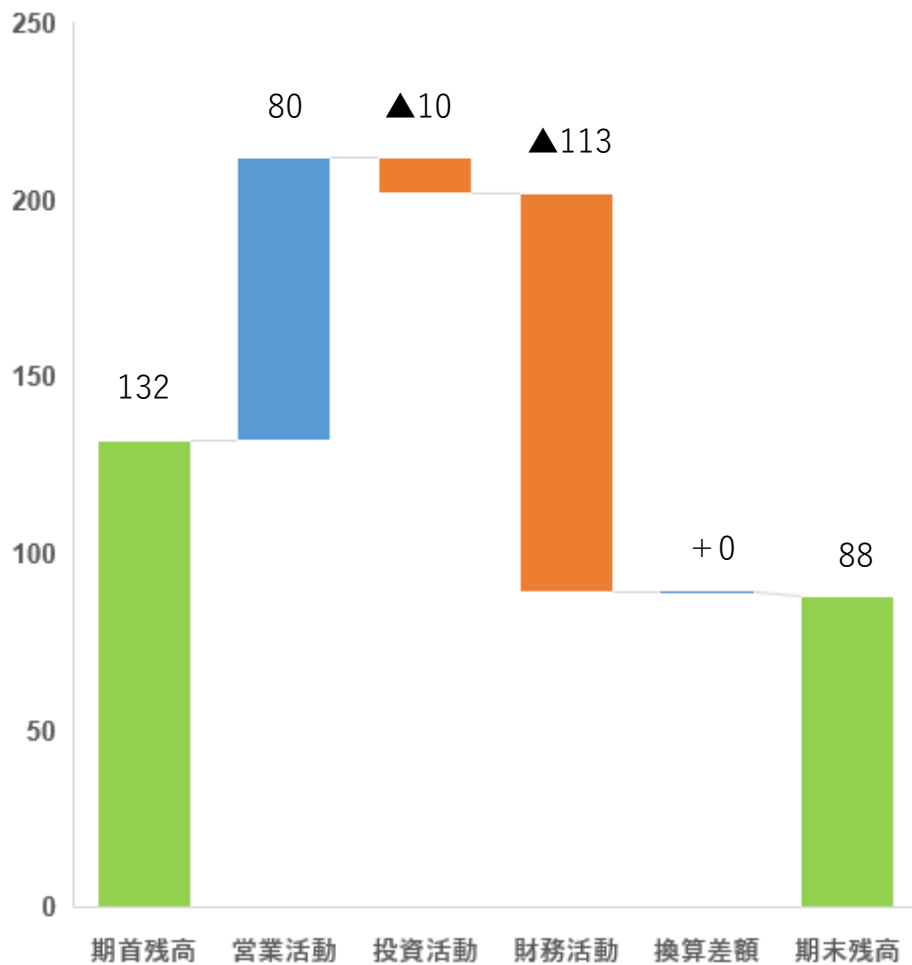
# 財政状況

(単位：億円)	2022/3 2Q	2022/3	2023/3 2Q	
			実績	前期末比
総資産	1,224	1,340	<b>1,323</b>	▲17
売上債権・棚卸合計	638	782	<b>738</b>	▲43
有利子負債	66	117	<b>126</b>	+8
自己資本	838	867	<b>863</b>	▲4
売上債権・棚卸比率	52.2%	58.3%	<b>55.8%</b>	▲2.5pt
有利子負債比率	5.4%	8.8%	<b>9.6%</b>	+0.8pt
自己資本比率	68.5%	64.7%	<b>65.2%</b>	+0.5pt

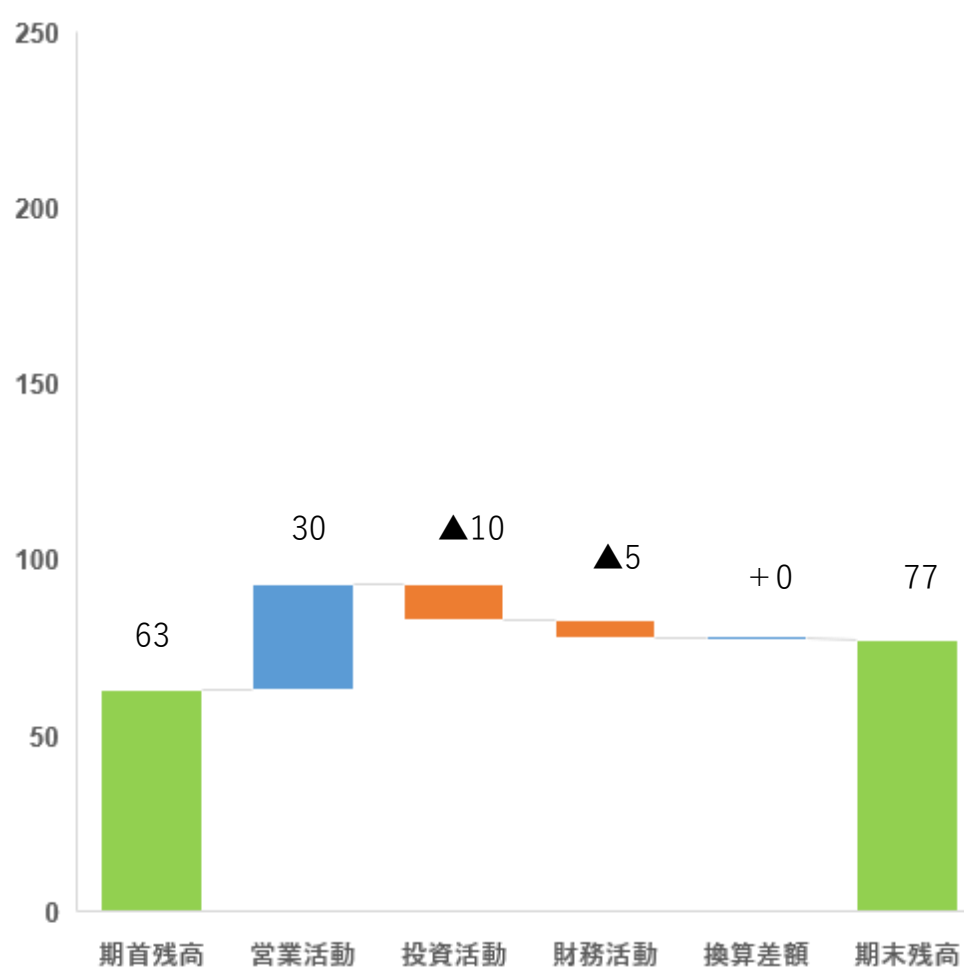
# キャッシュフロー計算書

■ キャッシュフローは、借入金増加や配当によるキャッシュの減少などにより、期末残高は77億円となった。

(単位：億円)



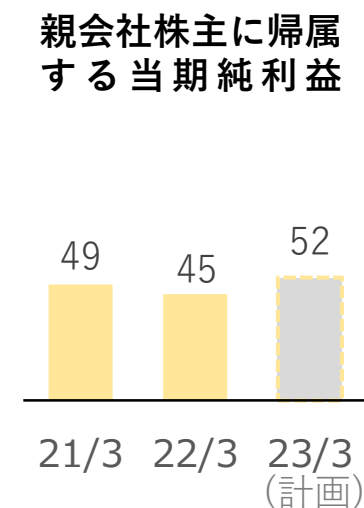
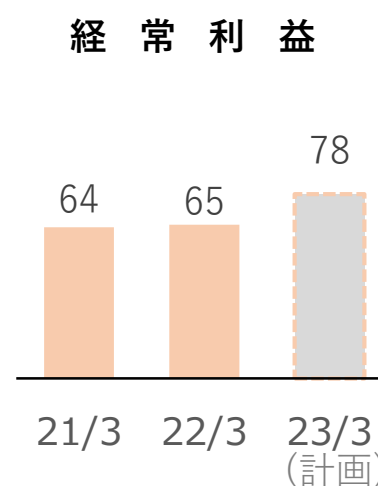
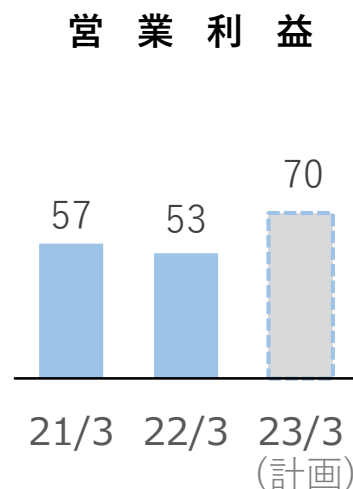
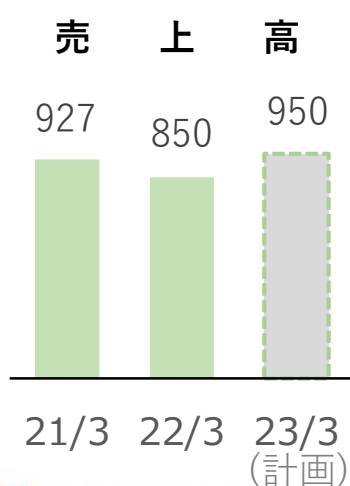
(単位：億円)





# 2023年3月期通期計画 計画

(単位：億円)	2021/3	2022/3	2023/3	
			計画	前期比
売上高	927	850	<b>950</b>	+99
営業利益	57	53	<b>70</b>	+16
経常利益	64	65	<b>78</b>	+12
親会社株主に帰属 する当期純利益	49	45	<b>52</b>	+6



# 受注高・売上高・受注残高 推移（鉄道信号）

計画

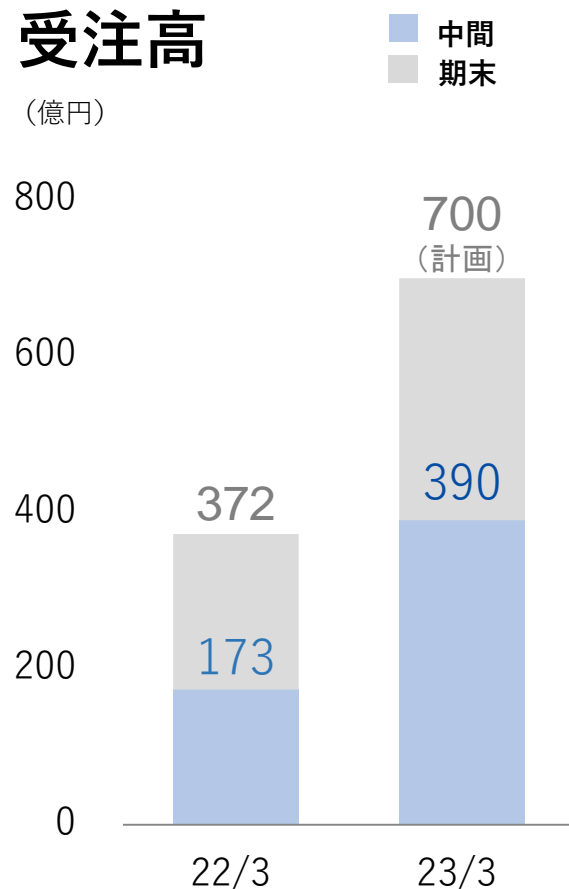
## 鉄道信号事業

顧客の構造改革を支えるソリューションの製品開発を進め、鉄道設備、駅務機器から駅周辺設備までをトータルで見守ることができる「Traio」を中心に事業活動を展開していく。

主な事業内容：自動列車制御装置（ATC）、無線式列車制御システム（SPARCS）ほか

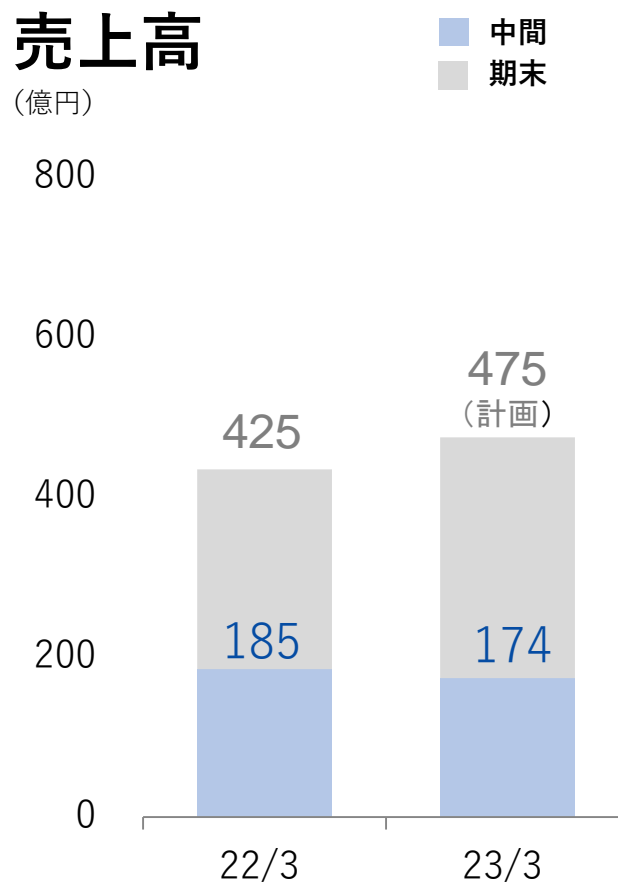
### 受注高

(億円)



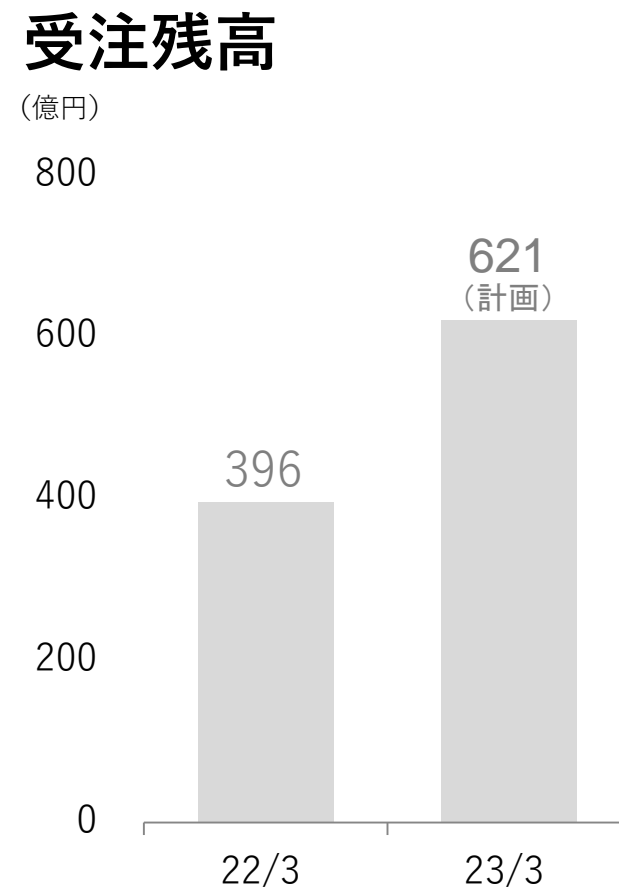
### 売上高

(億円)



### 受注残高

(億円)



# 受注高・売上高・受注残高 推移（スマートモビリティ）

計画

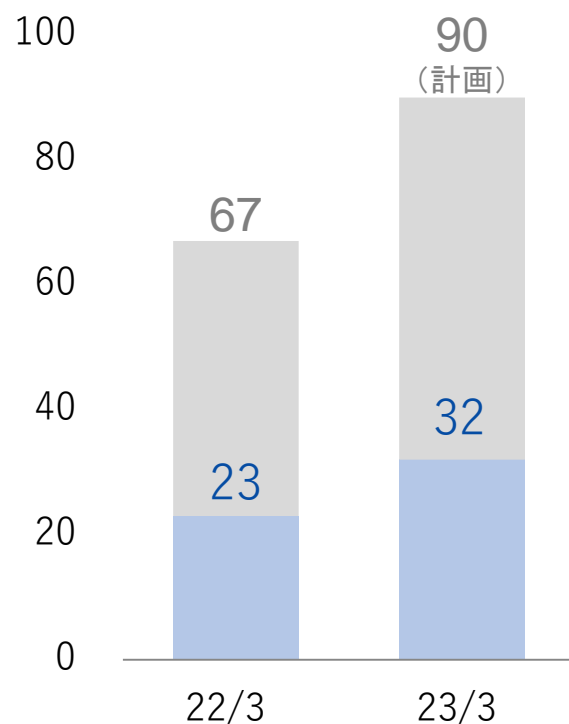
## スマートモビリティ事業

「くるLink（ファースト・ラストワンマイルサービス）」や、信号機等のインフラと自動運転車両が連携した路車協調型の自動運転関連サービスの実用化に向けた製品開発、事業化に取り組む。

主な事業内容：交通管制システム、交通信号制御機・灯器 ほか

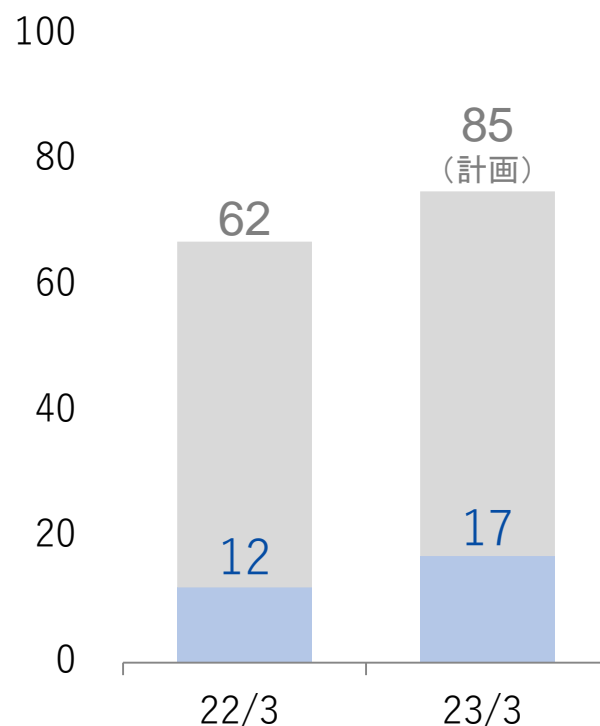
### 受注高

(億円)



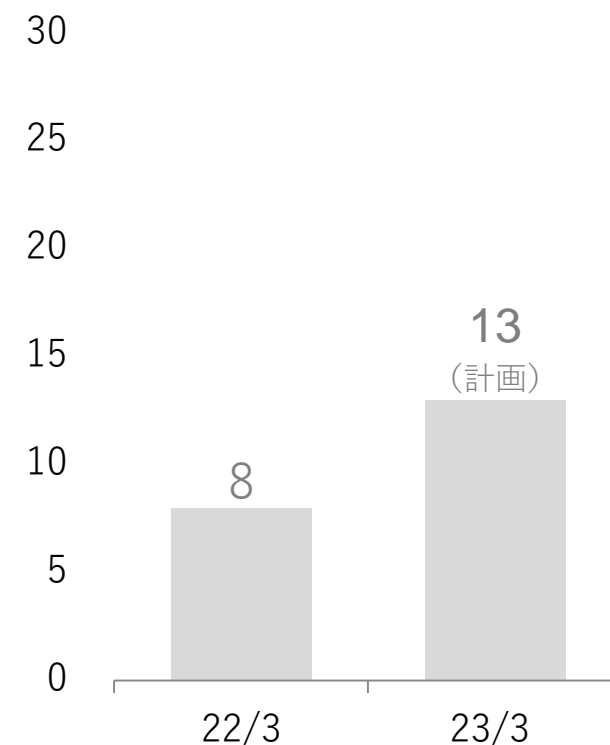
### 売上高

(億円)



### 受注残高

(億円)



# 受注高・売上高・受注残高 推移 (AFC) 計画

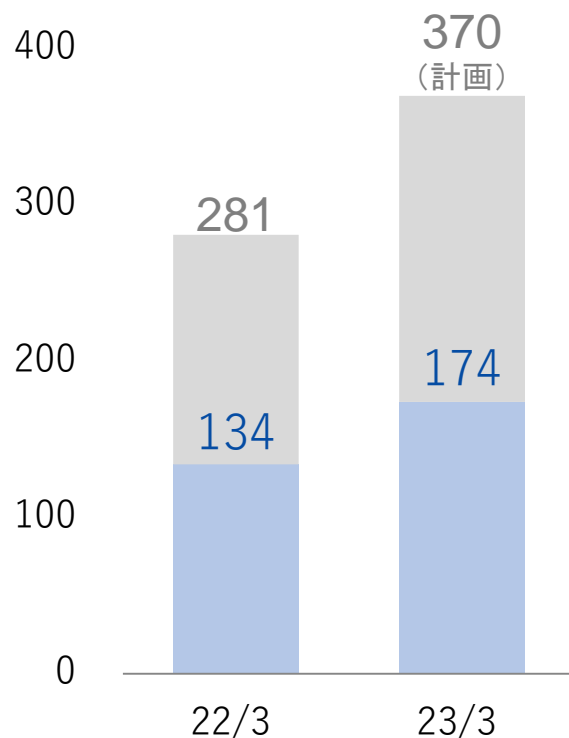
## A F C 事業

シームレスな移動に寄与する乗車券のデジタル化や電子決済の多様化、駅ホームの安全を促進するホームドアやホーム監視装置等を中心に事業展開に取り組む。

主な事業内容：自動改札機、ホームドア、駐車場管理システム ほか

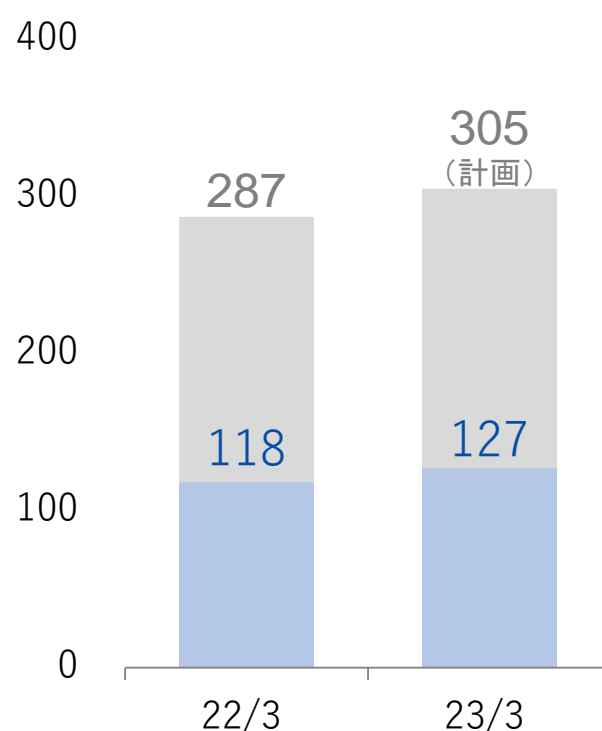
### 受注高

(億円)



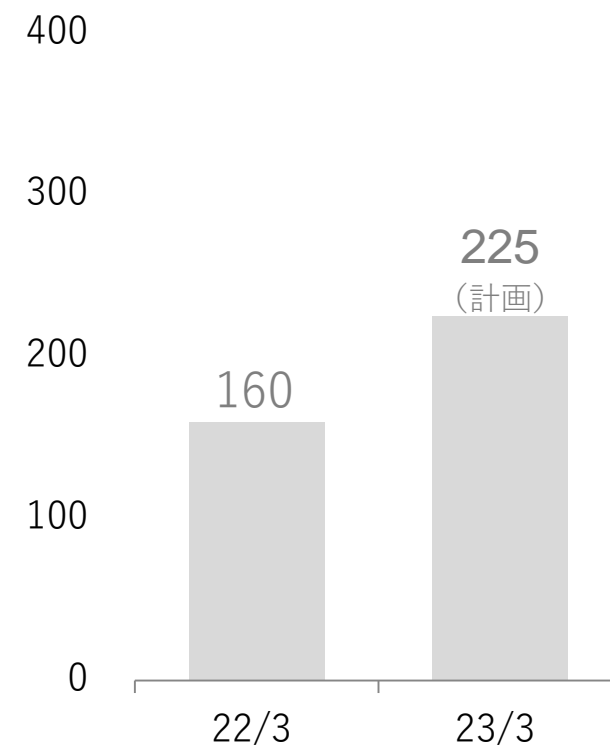
### 売上高

(億円)



### 受注残高

(億円)



# 受注高・売上高・受注残高 推移（スマートシティ）

計画

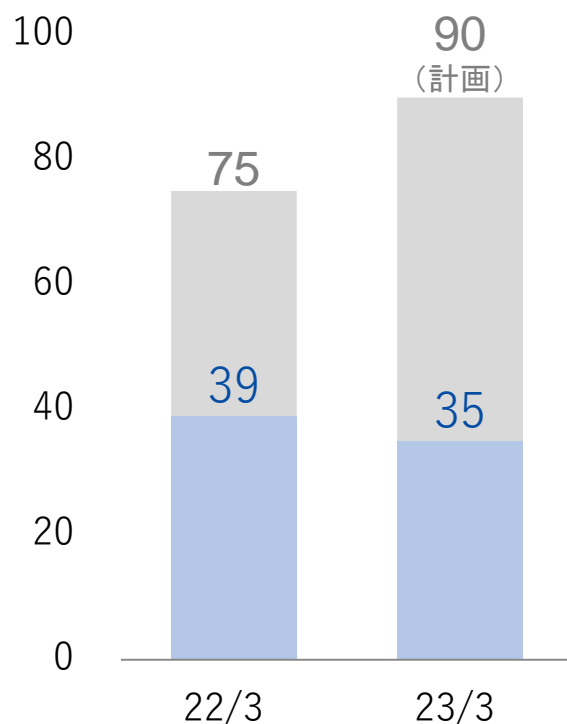
## スマートシティ事業

入退管理システムを含めたビルセキュリティソリューション企画の推進、顔認証・非接触技術等の新技術に対応し、清掃ロボット開発から得た知見を活かし、多種多様なロボット開発に取り組む。

主な事業内容：セキュリティゲート、自動清掃ロボット、3D距離画像センサ ほか

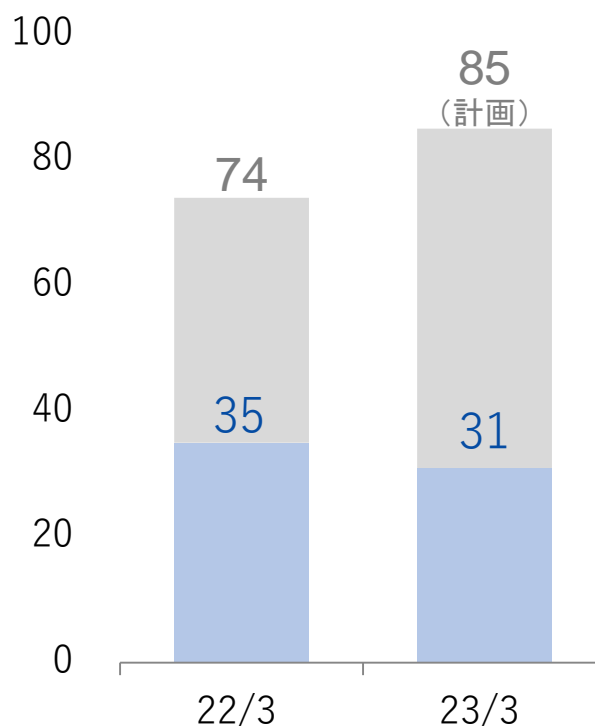
### 受注高

(億円)



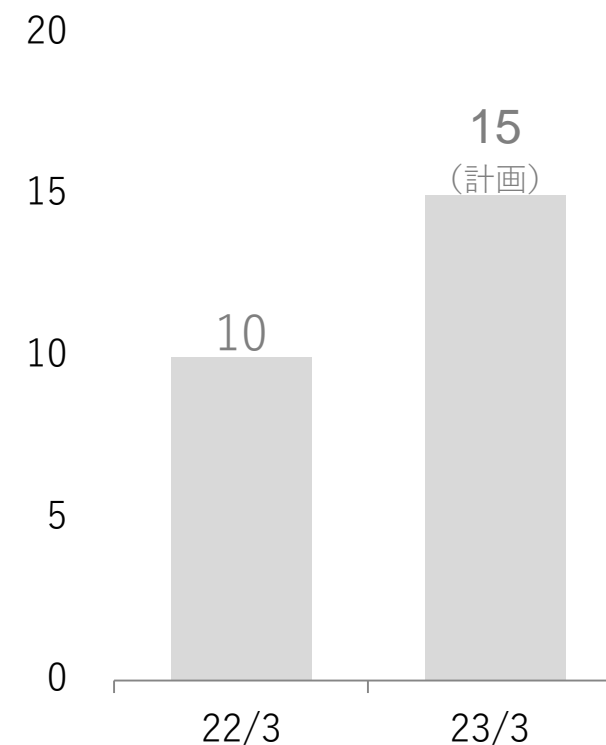
### 売上高

(億円)



### 受注残高

(億円)



# 受注高・売上高・受注残高 推移（通期）

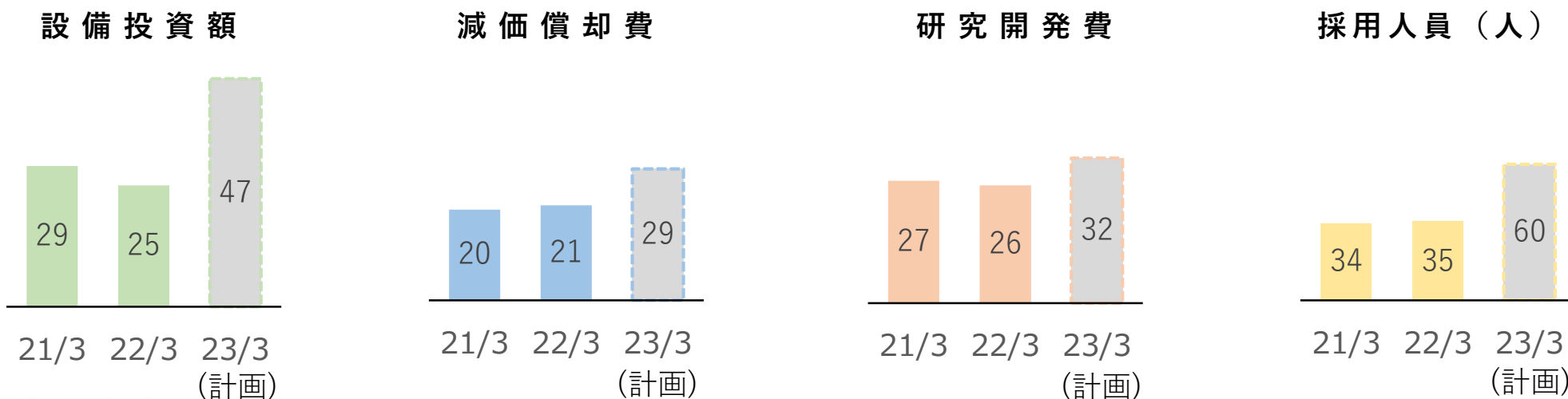
計画

(単位：億円)	2022/3			2023/3（計画）			前年同期比		
	受注高	売上高	受注残高	受注高	売上高	受注残高	受注高	売上高	受注残高
鉄道信号	372	425	396	<b>700</b>	<b>475</b>	<b>621</b>	+327	+49	+225
スマートモビリティ	67	62	8	<b>90</b>	<b>85</b>	<b>13</b>	+22	+22	+5
交通運輸インフラ事業	440	488	404	<b>790</b>	<b>560</b>	<b>634</b>	+349	+71	+230
AFC	281	287	160	<b>370</b>	<b>305</b>	<b>225</b>	+88	+17	+65
スマートシティ	75	74	10	<b>90</b>	<b>85</b>	<b>15</b>	+14	+10	+5
ICTソリューション事業	356	362	171	<b>460</b>	<b>390</b>	<b>241</b>	+103	+27	+70
<b>合計</b>	<b>797</b>	<b>850</b>	<b>575</b>	<b>1,250</b>	<b>950</b>	<b>875</b>	+452	+99	+300

# セグメント別（セグメント別利益） 計画

(単位：億円)	2021/3	2022/3	2023/3	
			計画	前期比
交通運輸 インフラ事業	71	52	62	+9
ICTソリューション 事業	16	33	40	+7
全社費用	▲ 30	▲ 31	▲ 32	▲ 0
合計	57	53	70	+16

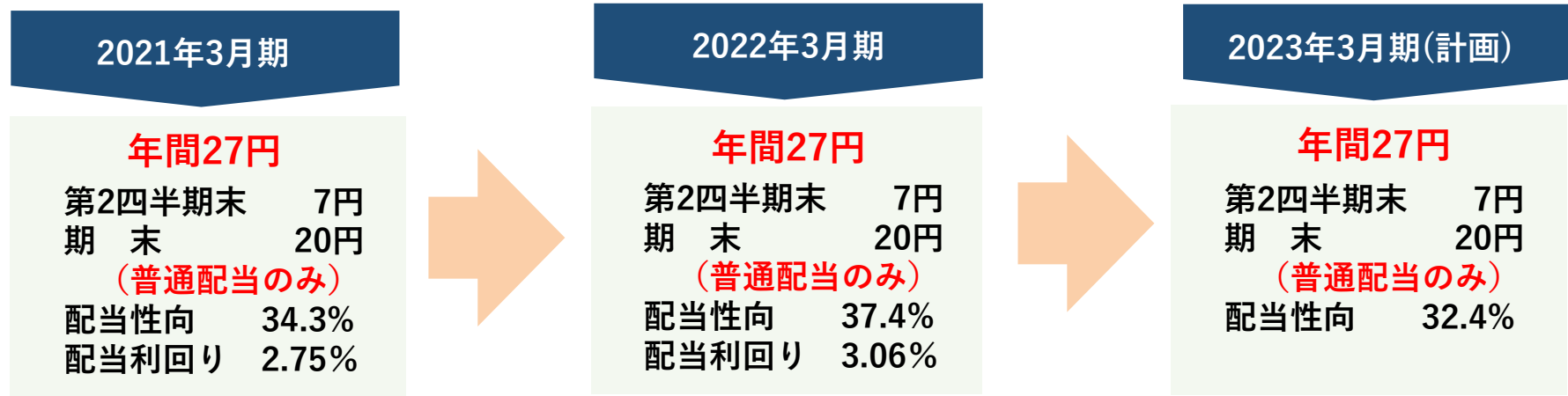
(単位：億円)	2021/3	2022/3	2023/3	
			計画	前期比
設備投資額	29	25	47	+22
減価償却費	20	21	29	+7
研究開発費	27	26	32	+6
採用人員 (人)	34	35	60	+25



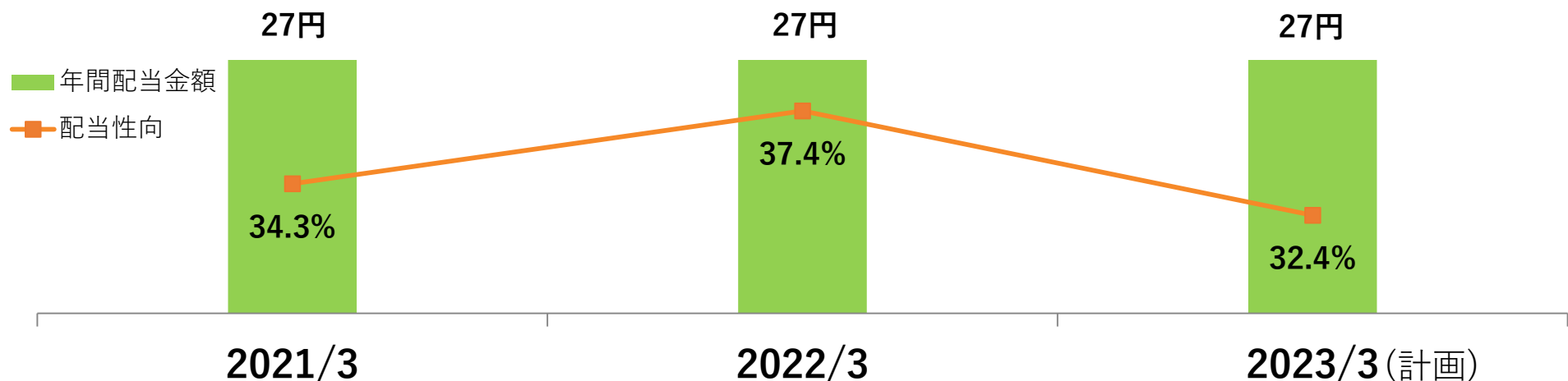


# 利益還元（配当金）について

- 配当については、財務体質の強化を図りつつ毎期の業績・新規投資を勘案しながら、連結配当性向30%前後を目安に安定的・継続的に行うよう努める。  
安定的な配当継続を重視し、年間配当金額は27円を維持。

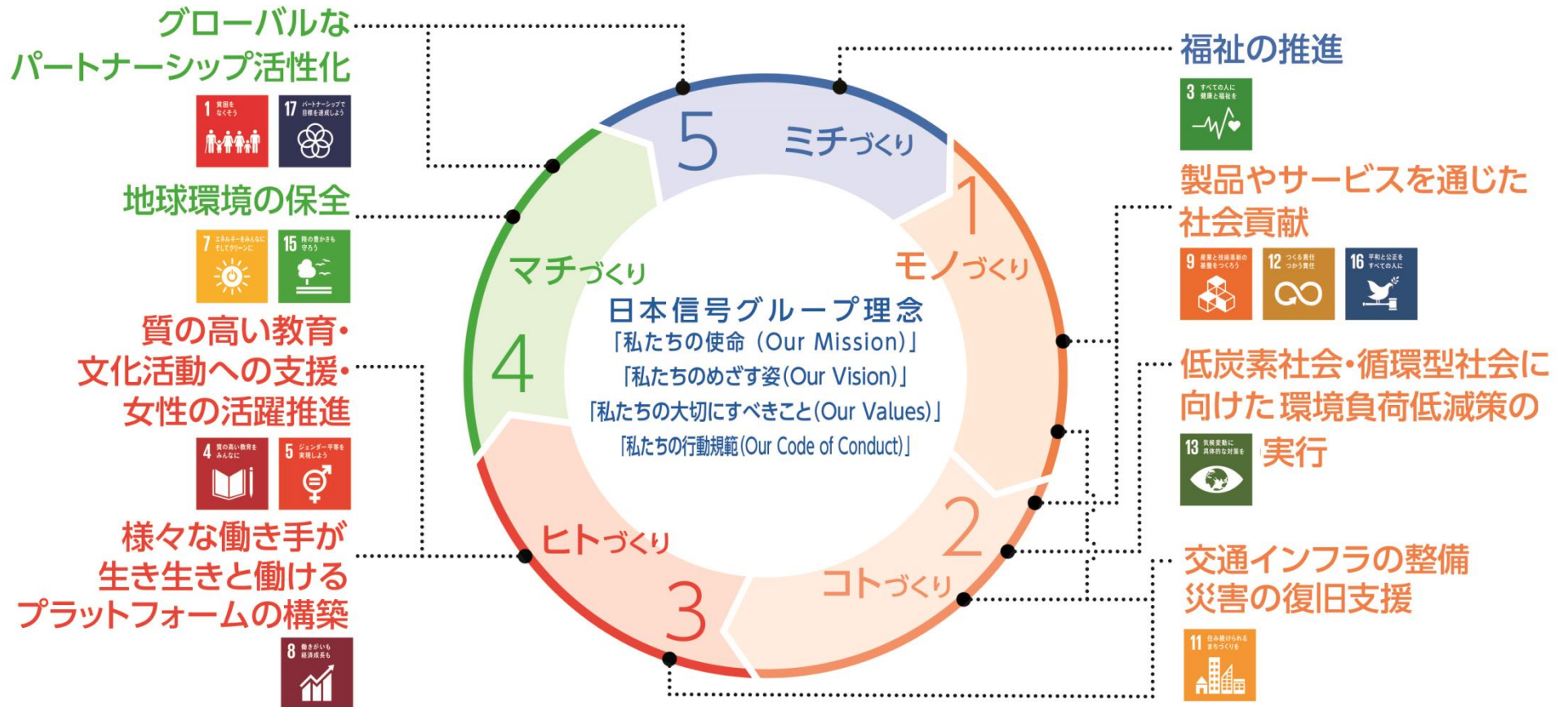


※配当利回りは年間配当金÷期末株価で算出



# SDGsへの取り組み

日本信号グループは、企業価値を向上し続けていくために、「持続可能な開発目標（SDGs）」を意識した経営を進めていく。



## 西九州新幹線開業

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



2022年9月23日に開業した西九州新幹線に、当社は信号装置としてATC装置、電子連動装置、CTC装置、TCB装置、回線接続装置、MTD装置を納入。また、全5駅12ホーム144開口のホームドアを納入。



## 西武鉄道様 拠点駅継電連動装置更新 切替完了

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



西武鉄道株式会社様の池袋線と新宿線が交わる拠点駅（所沢駅）にて、継電連動装置切替が完了。信号システム全体としての更新工事であり、継電連動装置のほか、MTD装置やATS装置の更新、及び列車情報装置の改修も実施。



## 東海道新幹線 A T C 更新を受注

9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



2014年度から、ATC更新を開始。2023年11月からシステム切替を予定。  
今後、各エリアへ納入予定。



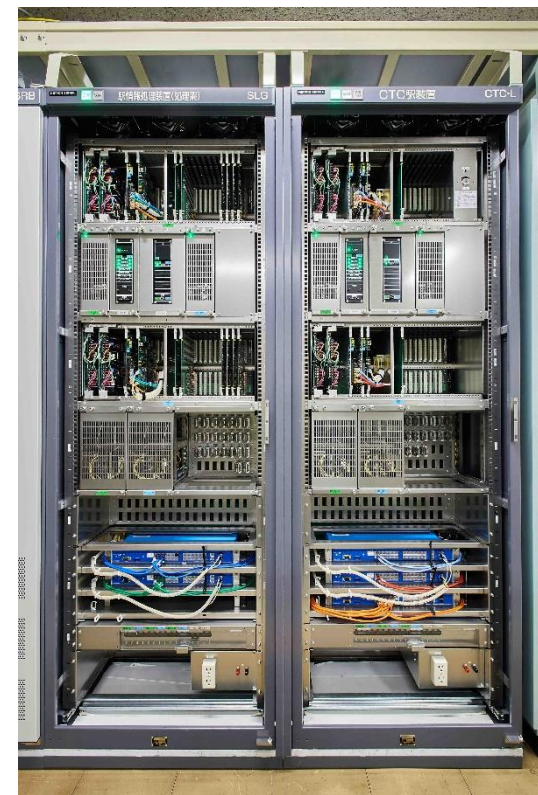
## 京都市交通局様 烏丸線信号保安設備システム更新

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



京都市交通局様の15駅及び中央のCTC設備と国際会館駅機器室全信号設備を更新する大規模システム更新を実施。

単一故障発生時にも継続運行可能な信頼性の高いシステムを実現。



CTC駅装置内部 & 駅情報処理装置  
(処理架) 内部

## 九州旅客鉄道様 香椎線全線 自動運転システム運用開始

9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



香椎線自動運転システムは2020年より、香椎～西戸崎間で実証運転が開始。2022年の3月ダイヤ改正にて、宇美駅への区間拡大をしたことで香椎線全線25.4kmでの自動運転システムが運用開始。



## 秩父鉄道様 ICシステム対応機器を導入

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



秩父鉄道株式会社様にて「キャッシュレス化の促進」と「駅業務の効率化」を背景に、駅務機器、収入システム、監視システムを含めた全システムを当社が納入。







## 東日本旅客鉄道様 気仙沼線 B R T 自動運転バス実用開始

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



気仙沼線 B R T 自動運転を支える技術として、無線を用いた運行状況を管理する交互通行システムを納入。気仙沼線 B R T 柳津駅～陸前横山駅間において、自動運転バスの実用開始を12月5日に予定。



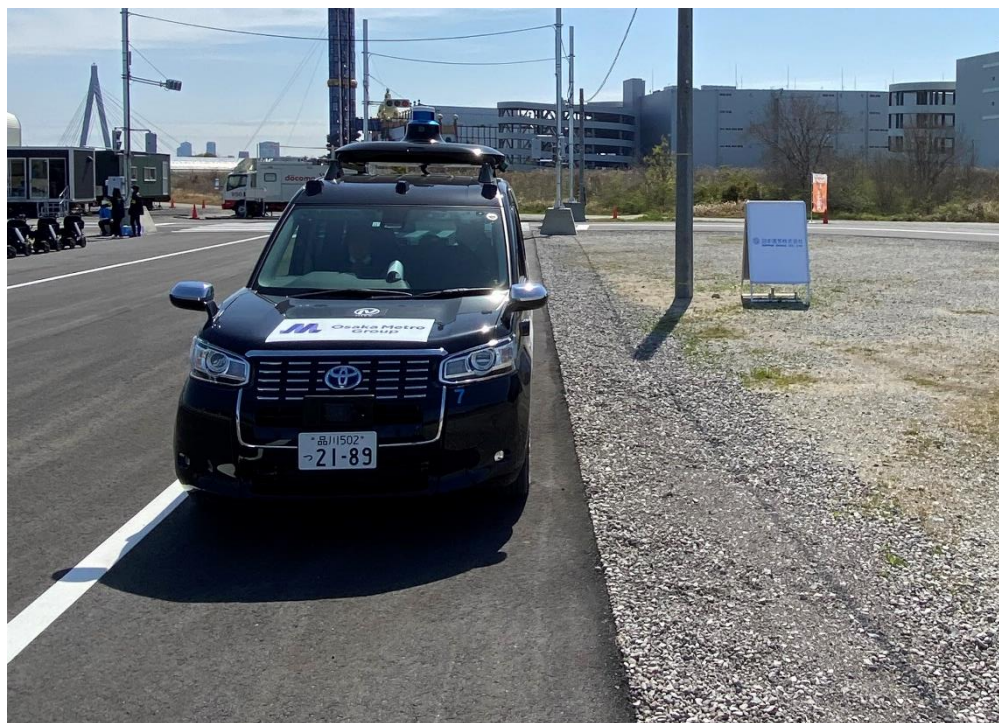
東日本旅客鉄道株式会社様の自動運転バス

## 大阪市此花区舞洲にて実証実験を実施

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



2025年大阪・関西万博会場内外の輸送を鑑み、Osaka Metro様及び当社を含む10社で、自動運転車両の実証実験を実施。当社は「信号の現在灯色及び残秒数」と「センサで検出した周辺交通の状況から衝突可能性を予測し生成した出発可否情報」を提供。



## 栃木県ABCプロジェクト 宇都宮市での実証実験に参画

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



2022年いちご一会とちぎ国体の開催に合わせ、栃木県が西川田駅と国体会場間で自動運転バスの実証運行を実施。当社は信号情報連携及びカメラとLiDARを用いたインフラ支援の技術を提供。



## 「交通インフラDX推進コンソーシアム」発足

9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



交通信号機を5G基地局の設置場所として活用するとともに、5Gを用いた交通信号機の集中制御化等を目的とした技術や制度を社会実装していくための実現方法、事業性について検討するために発足。当社は幹事会社として参画。





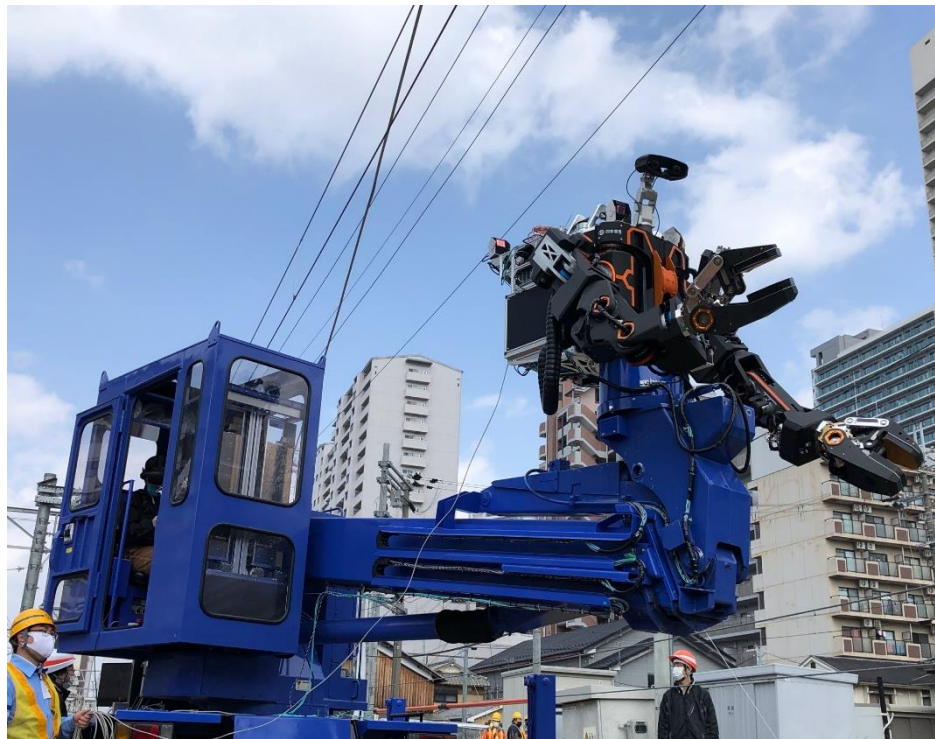
## 多機能鉄道重機試作機・現地試験を実施

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



西日本旅客鉄道株式会社様、株式会社人機一体様と共同開発を進めている多機能鉄道重機の現地フィールド試験を実施。

2024年春の実用化を目指し、製品版に向けた開発を本格化。



## 標準化活動貢献者表彰を受賞

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



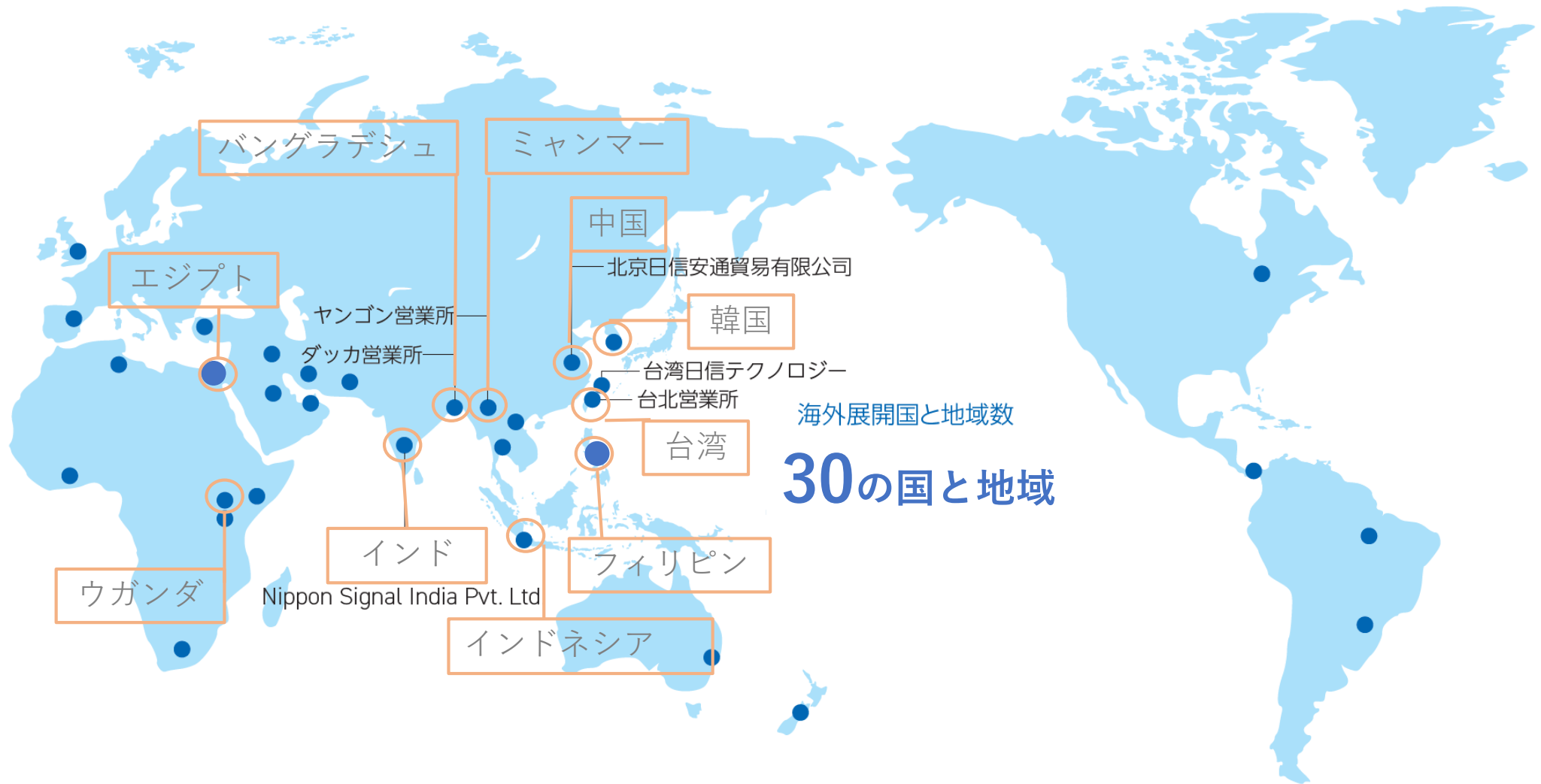
安全信頼創造センター安全研究室 部長 森貞晃が、鉄道分野における国際規格 (ISO・IEC) や日本産業規格 (JIS) 等の規格案の審議・策定等を行う活動への貢献を表彰する「標準化活動貢献者表彰」を受賞。



# 国際事業の取り組み



関連動画：市場拡大が続く国際事業  
[https://youtu.be/tk\\_YmfHvNyg](https://youtu.be/tk_YmfHvNyg)



- …実績
- …継続展開予定

# 国際事業の取り組み

## 国際鉄道案件の事例



デリー



金浦



アーメダバード



ジャカルタ



デリー  
CTCセンター



# CBTC及び自動運転の実績について

## ■ 当社製CBTC（SPARCS）の実績

路線名	運用開始時期
中国 北京地下鉄15号線	2011年
インド デリーメトロ8号線	2017年/2025年延伸予定
韓国 金浦都市鉄道	2019年
インドネシア ジャカルタMRT	2019年
インド アーメダバード都市鉄道	2020年
バングラデシュ ダッカMRT6号線	2022年予定
韓国 光州都市鉄道2号線	2025年予定
東京都交通局 都営大江戸線	進行中
フィリピン マニラ地下鉄	2028年予定
エジプト カイロ地下鉄4号線	2028年予定

## ■ 既存システム（ATS：自動列車停止装置）をベースとした自動列車運転装置実績

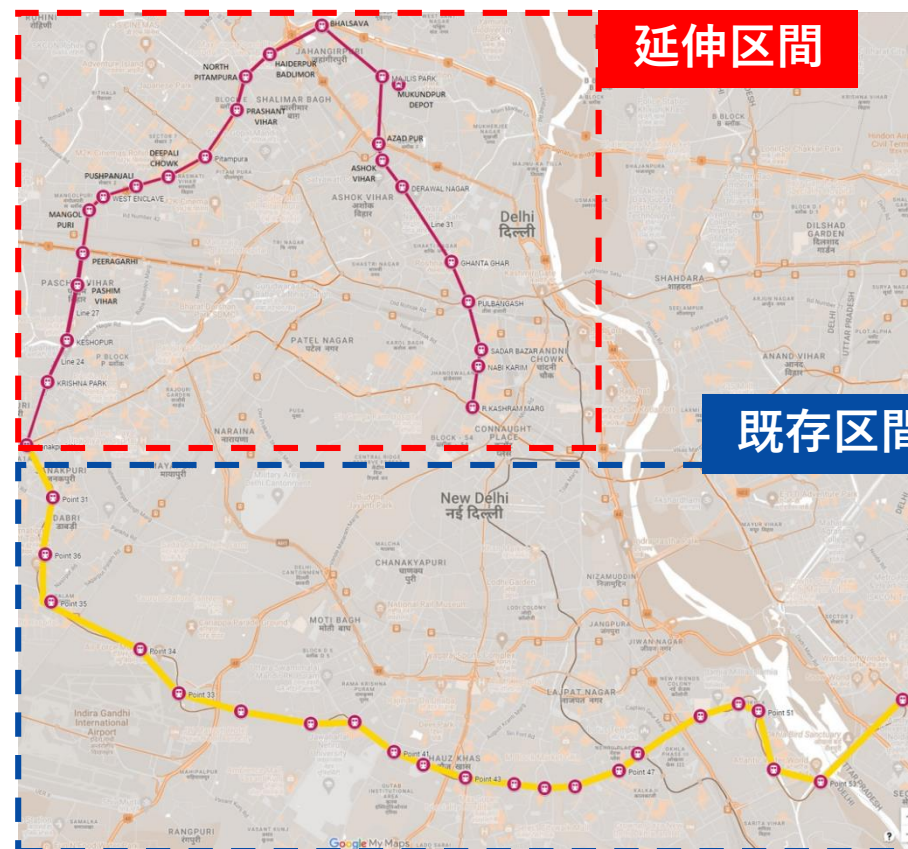
路線名	運用開始時期
九州旅客鉄道株式会社 香椎線	2020年実証運転

## デリーメトロ8号線 延伸区間信号システム受注

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



デリーメトロは当社信号システム搭載のもと、2018年5月に有人運転による全線開業を果たし、2020年12月にはインド初となる完全無人運転を実現し、既存区間における安定稼働実績が評価され、22駅28.92kmの延伸区間信号システムを受注。

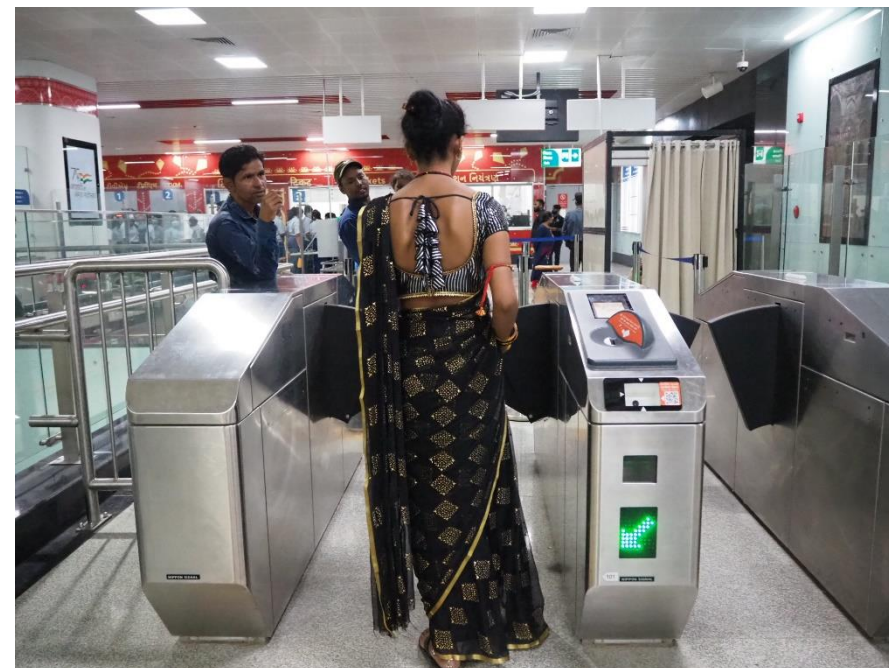


## アーメダバードメトロ全線開業

9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



アーメダバードメトロは2022年10月、当社信号システム・AFCにて東西線18駅20.7km・南北線15駅18.5kmの2路線全線で営業運転を開始。アーメダバード市民にとって初めてのメトロであり、都市部の渋滞緩和が期待される。



# 国際事業の取り組み

## マニラ地下鉄 信号システム受注

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



15駅27kmに加えて、別途2駅4.5kmの整備を対象としており、当社にとってフィリピンで初めての受注。



SPARCSシステム運行表示盤  
完成イメージ

## カイロ地下鉄4号線 信号システム・PSDシステム受注

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



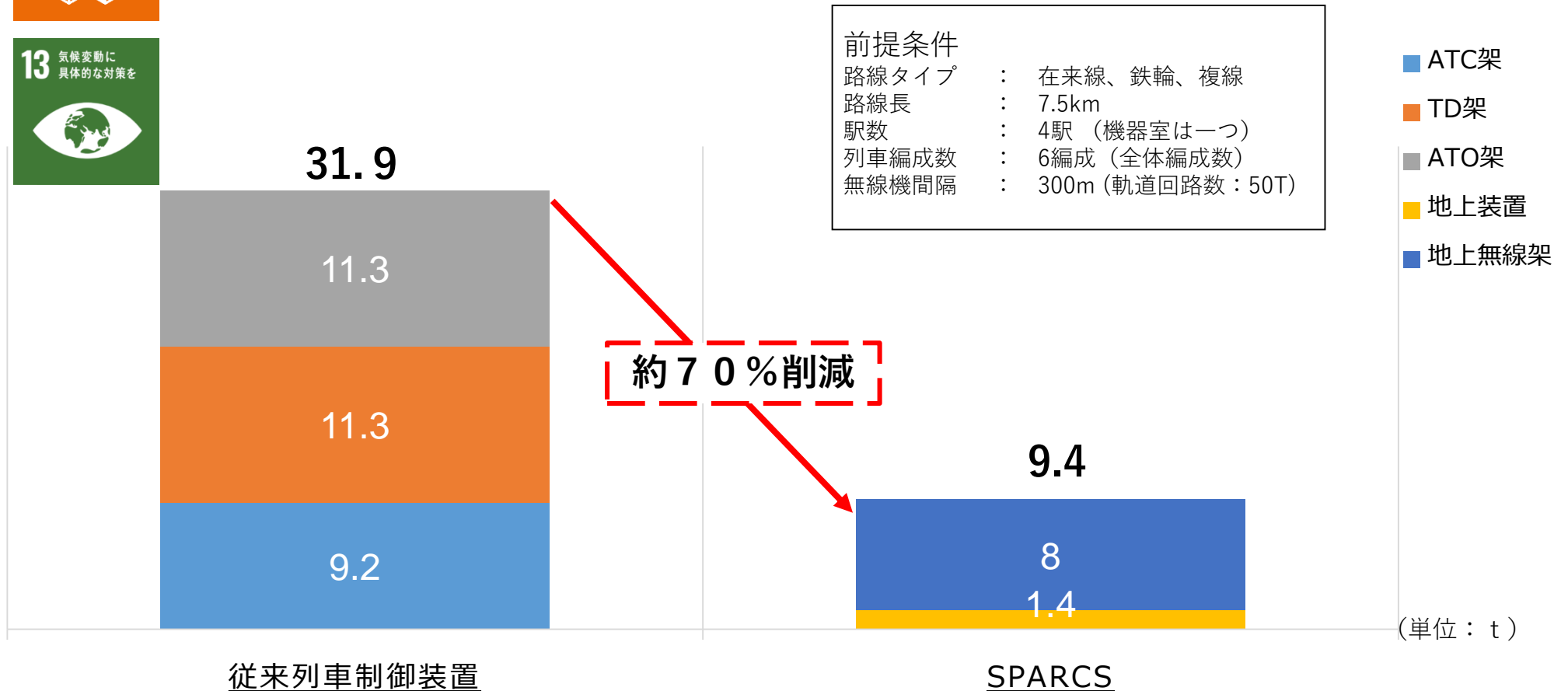
総距離18.8km、駅数16駅で構成されており、  
当社にとってエジプトで初めての受注。



カイロ3号線車両

# 脱炭素への取り組み

## 当社製CBTC（SPARCS）と従来列車制御装置のCO2排出量比較



SPARCS (Simple-structure and high-Performance ATC by Radio Communication System)

# 脱炭素への取り組み

## TCFDへの対応

13 気候変動に  
具体的な対策を



環境負荷の低い交通手段である鉄道の普及や維持を通じて持続可能な社会に貢献。TCFDへの賛同や、機器使用時の温室効果ガス排出の少ない製品・サービスを提供するとともに脱炭素に取り組む。



アーメダバードメトロ

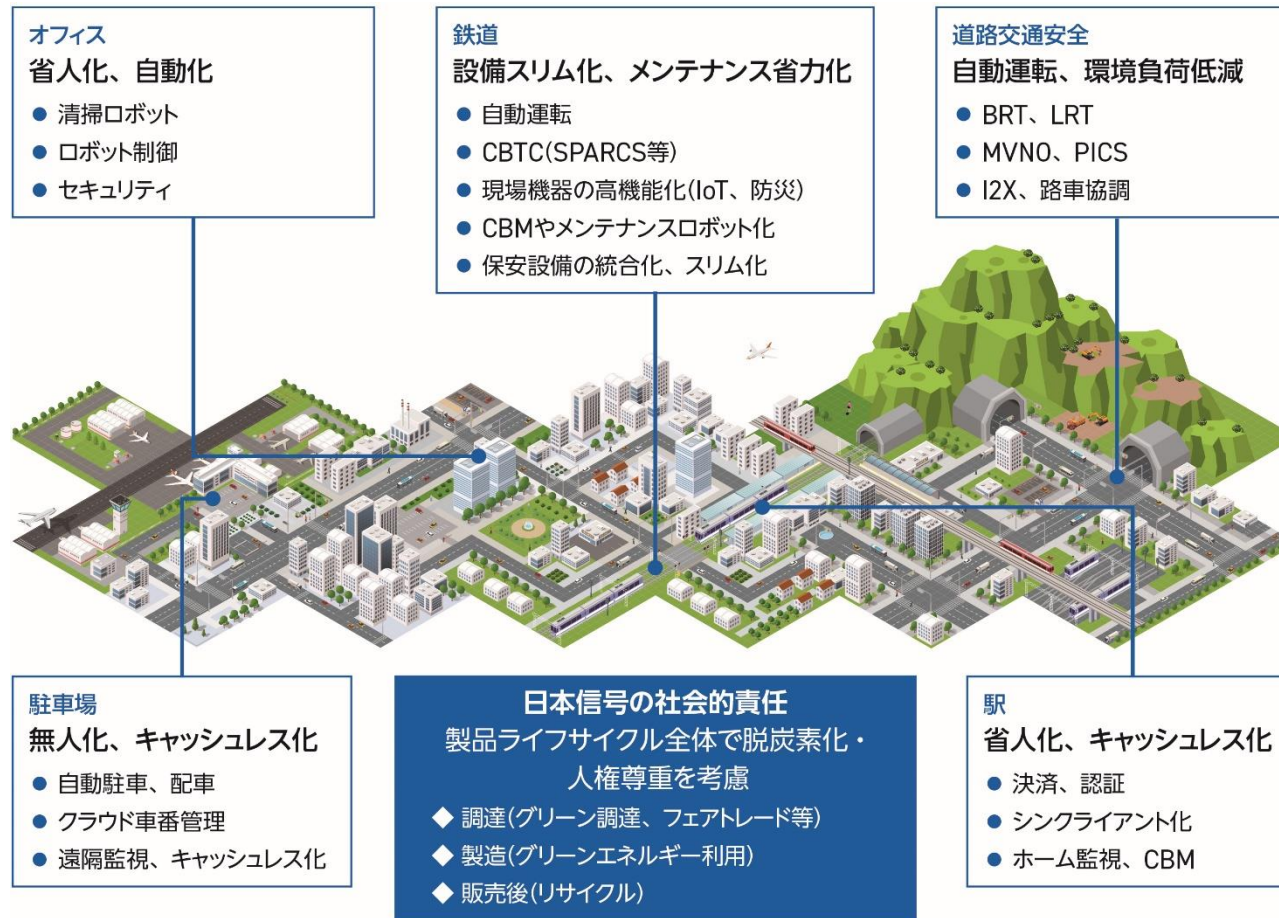
※TCFD…気候関連財務情報開示タスクフォース（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）

# 脱炭素への取り組み

## 環境貢献商品への取り組み



無線による列車制御システム(SPARCS)、CBM、自動運転などにより、脱炭素化されたインフラの構築・普及により、一層のCO<sub>2</sub>排出削減に取り組む。







## 「日本信号の森」の開設／エコレールマークに協賛

15 陸の豊かさも  
守ろう



創業記念事業の一環として、「日本信号の森」を創設し、当社役員・社員を中心に森林保全活動を実施。また、エコレールマークに協賛しており、出荷製品の一部（電気転てつ機ほか）ならびに購入材料の鉄道貨物による輸送を実施。



2022年度「日本信号の森」植樹の様子



## 第60回技能五輪大会出場

4 質の高い教育を  
みんなに



8 働きがいも  
経済成長も



2017年度より連続出場し、2022年度は「電子機器組立職種」に社員4名が出場。2023年のシード権を獲得。



# 人材育成への取り組み

## ソフトウェアコンテストを実施

4 質の高い教育を  
みんなに



8 働きがいも  
経済成長も



グループ会社の日信ソフトエンジニアリング株式会社にて、ソフトウェアコンテストを開催。ソフトウェアの専門知識、ソフトウェア業界の最新動向、信頼性技術、英語読解に加え、「C言語」によるプログラミングを出題。



# 健康経営への取り組み

## スポーツフェスティバルを開催

8 働きがいも  
経済成長も



社員同士の交流を深め、目標を共有しモチベーションを高めることを目的としたスポーツフェスティバルを3年ぶりに開催。



## 第9回鉄道まつりを開催

4 質の高い教育を  
みんなに



3年ぶりとなる鉄道まつりを久喜事業所にて開催。  
通票閉そく器の体験や、運転シミュレーター体験などの催しを行い、  
これまでを上回る3,100名の方が来場。



## こどもの夢ひろば「ボレロ」に協賛



ヒトづくり・ミチづくりの一環として、こどもの夢ひろば「ボレロ」に協賛。ピアニストの小山実稚恵氏が、震災を経験した子どもたちに夢や希望をもってもらいたいと企画し、仙台で開催。2022年は当社ブースも出展。



## 第19回ゴールドコンサートに協賛



障がい者のための国際舞台芸術コンクールで、当社は2014年よりCSR活動の一環として協賛。本年度は観客賞を獲得された方に日本信号賞を贈呈。



表彰式の様子（撮影：仁科勝介）

# SIGNAL MOVIESのご紹介

The screenshot shows the NIPPON Signal website. At the top left is the NIPPON Signal logo. To its right are language options: 'english', '中文', and 'お問い合わせ'. Below these are navigation links: 'EVOLUTION LOG', '事業領域', '買材関連情報', '企業情報', '役員家情報', 'サステナビリティ', '研究開発', and '採用情報'. A search bar is located to the right of the language options. The main content area has a dark blue header with the text 'SIGNAL MOVIES (映像コンテンツ)'. Below this is a breadcrumb trail: 'ホーム > SIGNAL MOVIES (映像コンテンツ)'. The section title 'SIGNAL MOVIES' is followed by a horizontal line. Underneath is the sub-section title '<会社案内映像>'. Two video thumbnails are displayed: the first shows an industrial facility with the caption '会社案内〜Next Stage〜', and the second shows a highway interchange with the caption 'インフラの進化を支える'.

↓ こちらからアクセスできます



<https://www.signal.co.jp/movies/>



業績予想等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、これらの予想とは大きく異なる可能性があります。